



高知県Next次世代型施設園芸農業に関する産学官連携協議会

年2回程度開催

【構成員】

高知県知事、国立大学法人高知大学学長、高知県立大学法人高知工科大学学長、高知県立大学法人高知県立大学学長、高知県農業協同組合中央会会長、高知県農業協同組合組合長、(一社)高知県工業会会長、高知県IoT推進協会会長、IoT推進機構会長、(株)四国銀行代表取締役頭取、(株)高知銀行代表取締役頭取

事業責任者 (プロジェクト全体の責任者)
高知大学 受田浩之 学長

代表者会議 (2つの部会とIoT推進機構の取組をPDCAサイクルにより概ね2ヶ月毎に点検・検証)
構成: 事業責任者(座長)、中心研究者、部会長、IoT推進機構会長、県

事務局: 県農業イノベーション推進課 (IoT推進室)

【IoTプロジェクト事務局】 プロジェクト全体の進捗状況の把握・調整・広報 等

担当: 県産業政策課

産業振興計画
フォローアップ
委員会

展開枠

研究開発

専門部会

人材育成

産業振興

①IoTプロジェクト研究推進部会 [IoT研究開発の推進]

部会
[役割] 研究全体の進捗状況等のPDCA
[会の開催] 概ね四半期に1回
[構成] 高知大学本家研究担当理事(部会長)、中心研究者、プロジェクトチームリーダー、スーパーバイザー

IoT共創センター
[IoT研究の自走組織]
県内外のIoT研究機関連携組織へ

展開枠

中心研究者 (研究の指揮・統括) ※太字はプロジェクト当初からの中心研究者
[柱1] **メインエンジンの深化**
高知大学 北野雅治特任教授
高知大学 岩尾忠重教授
[柱2] **サブエンジンの開発**
高知工科大学 福本昌弘教授
高知大学 岩尾忠重教授

現研究課題との相乗効果によるIoT研究の加速
[柱3] **サステナブル with IoT**
京都大学大学院 藤原拓教授
[柱4] **新たな高付加価値化**
高知県立大学 渡邊浩幸教授

スーパーバイザー (研究面)
・オハイオ州立大食物農業環境科学部: 教授 チェリコボタ氏
・早稲田大: 教授 関根 泰氏 ・地球研: 林健太郎氏
・京大: 教授 高岡昌輝氏
・ワハングン大: 教授 Jos Verstegen氏 (R4~高知大客員教授)

②人材育成部会 [大学連携による高度な専門人材の育成]

部会
[役割] 人材育成 (学生・社会人) に関するプログラムの検討、進捗状況等の検証
[会の開催] 概ね年2~3回
[構成] 高知大学: 津江理事(部会長)、枝重学部長、石塚教授、深田教授、池島教授 他
高知工科大学: 古沢教授
高知県立大学: 村上教授
高知県: 岡村農業振興部IoT推進監
その他: JA高知県、(株)南国スタイル、IoT農業研究会副会長 (農家)

<部会で検討する人材育成等>
詳細は部会の下に設置する各チームにおいて検討
[学生教育]
・IoT連携プログラム (大学院特別プログラム) 開講 (高知大学・高知工科大学・高知県立大学)
・IoT教育プログラム (学士課程) (共通教育科目・単位互換)
[社会人教育]
・IoT塾 (Archives)
・土佐FBC研究開発実践コース

③IoT推進機構 (IoT域外展開へ)

[役割] IoTプロジェクトの産業界との連携
[会の開催] 概ね四半期に1回
[構成] 会長: 受田事業責任者
副会長: 徳弘 (JA中央会参事)・石塚 (IoT共創センター副センター長)
外部委員: 三輪泰史、青山浩子、堂山一成 (流通)
事務局長: 岡林俊宏 (県)
※顧問: 内田誠 (弁護士)、上羽秀敏 (弁理士)
※オブザーバー: 四国銀行、高知銀行、JAバンク高知、みずほ銀行

<主な役割>
・IoT自治体ネットワークに関すること。
・IoTプラットフォーム展開に関すること。
・IoT共創センター (研究開発)、IoT参画企業等 (関連産業展開) との連携に関すること。
知財データ管理WG クラウドシステムWG ビジネスWG
IoT技術者コミュニティ IoT/AI人材育成

⑥大学発ベンチャー (R5.9月設立)
<主な役割>
・IoTメインエンジンの展開、運用
・IoTサブエンジンの展開、運用
『知財データ管理WG』への参画

⑦IoT-JV企業体
<主な役割>
・IoTプラットフォーム (SAWACHI) の展開、運用等
・IoT関連デバイス、アプリケーションとの連携
『クラウドシステムWG』への参画

⑧IoT参画企業コンソーシアム
<主な役割>
・IoT関連デバイス、アプリケーション、サービス等の開発、運用、展開
・IoTクラウドを核とした既存ビジネスの強化、新規ビジネスの創出等
『ビジネスWG』への参画
『IoT技術者コミュニティ』への参画

社会実装

研究開発と生産現場をつなぐエコシステム
真に活用できるIoT技術の開発と普及
必要とされている技術研究の推進・教育

現場主義の実践的人材育成
Society5.0型農業の人材確保

高校・大学連携
教育委員会

展開枠
スーパーバイザー等 (計画全体)

④IoT農業研究会 (R4) [農業現場の課題解決プラットフォーム]

役員会
[役割] IoT研究の農家への普及・現場実証・課題収集
[会の開催] 概ね2ヶ月に1回
[構成] 北野IoT共創センター長(会長)、越智JA高知県春野胡瓜部会員(副会長) 高橋高知県農業技術センター所長 (副会長)、岩尾教授 (部会長)、細川高知県農業技術センター企画監 (部会長)
[主たる事務所] IoT共創センターサテライトオフィス (R4.8.1設置高知県農業技術センター内)

研究普及部会
IoTの機能の最適化と普及の推進
IoT作物部会
IoT研究開発技術の現場検証・改善
IoT作目WG群
・IoTニラWG
・IoTナスWG
・IoTトマトWG
・IoTキュウリWG
・IoTピーマンWG
現場の声をダイレクトに教育研究現場に接続

IoT農業研究会
IoT農家
IoT普及員
・JA指導員
IoT志望学生
IoT技術者
IoT研究者
IoT企業

⑤データ駆動型農業推進協議会 (県内実装)

先進的農業者
JA 大学
農業イノベーション推進課
環境制御普及推進員
農業技術センター
ハウス・機器メーカー
生産者
JA営農指導員
県普及指導員
指導体制の整備 実践支援 ハウスの低コスト化

活動内容
①データ駆動型の営農指導体制の構築と指導者の育成 (高知県データ駆動型農業推進アドバイザーによる指導)
②データ駆動型農業の推進に係る技術実証 (県内各地、各品目で設置している『学び教え合う場』活用)
③環境制御技術導入や次世代型ハウス整備の推進 (研修会、現地検討会、視察研修等)

地域における大学振興・若者雇用創出事業に関する計画（高知県） 新旧対照表（案）

新	旧
<p>1～9-⑥ 省略</p> <p>9-⑦ 産官学連携による実効性 <抜粋></p> <p><u>また、高知大学の受田学長より事業責任者を引き継ぐ、一般社団法人高知県情報産業協会の中城会長は、I o Pプロジェクトの計画段階から産学官連携協議会に参画し、方向性や年度毎のP D C Aに対する助言を行うなど、プロジェクト当初より深く関わってきている。</u></p> <p><u>高知県産業振興計画においても、フォローアップ委員会商工業部会員として進捗状況の検証や評価に長年携わってきている。</u></p> <p><u>さらに、同氏が代表を務めるパシフィックソフトウェア開発株式会社では、強力なリーダーシップのもと、水産分野における養殖のインターネット自動給餌システムの開発・普及実績を有するなど、一次産業分野のデジタル化にも大きく貢献している。</u></p> <p><u>産業界の第一線で重要な役割を担う同氏であればこそ、高知大学、高知工科大学、高知県立大学等における研究開発が、着実に社会実装につなげられるようマネジメントでき、それらの成果が地域課題の解決や地域産業の発展に寄与することが期待できる。</u></p> <p>こうしたことから、様々な産学官関係者が連携して推進する本プロジェクトの「事業責任者」として適任と考えている。</p> <p>9 - ⑧ ～ 10 省略</p>	<p>1～9-⑥ 省略</p> <p>9-⑦ 産官学連携による実効性 <抜粋></p> <p>また、事業責任者となる高知大学の受田理事は、「高知県産業振興計画」において、策定から10年以上にわたって、産業団体の代表者や学識経験者等で組織する委員会の委員長を務めている。また、大学人として14年にわたり高知県内の産学官連携の様々な仕組みの構築や、産学官連携によるイノベーションの創出や地域課題の解決などの取り組みを牽引してきた実績を有するとともに、高知大学がこれまで進めてきた大学改革においても、中心的な役割を担ってきている。さらに、現在、社外取締役と金融機関の経営評価委員を務めており、産業界からの信頼が厚く、産業界に物申せる貴重な人物である。国においても、科学技術、地方創生、消費者行政の分野で要職を務めており、様々な人的ネットワークを有している人物である。</p> <p>こうしたことから、様々な産学官関係者が連携して推進する本プロジェクトの「事業責任者」として適任と考えている。</p> <p>9 - ⑧ ～ 10 省略</p>